



3月になり、6年生は「卒業」、在校生は「修了」する時期を迎えました。「卒業式」に向けて、体育館で5・6年生の卒業式練習が始まりました。各教室では、朝の会で3月の歌「切手のないおくりもの」を歌っています。お昼の放送時には、この曲が全校に流れています。

3月11日（金）で、「東日本大震災」から5年が経過します。大切な「いのち」を守り、子どもたちに生き抜いて欲しいとの願いを込め、心からのメッセージをおくります。

去る、3月2日（水）の朝礼で、相田みつをさんの「いのち」という詩を紹介しました。「うまれかわり 死にかわり 永遠の過去のいのちを受けついで いま自分の番を生きているそれがあなたのいのちです それがわたしのいのちです」というものです。いのちについてもう一つ、「自分の番 いのちのバトン」という詩があります。「父と母で二人 父と母の両親で四人 そのまた両親で八人 こうしてかぞえてゆくと 十代前で千二十四人 二十代前では——？ なんと百万人を越すんです 過去無量のいのちのバトンを受けついで いまここに 自分の番を生きている それがあなたのいのちです それがわたしのいのちです」

来たる24日（木）の「卒業式」には、卒業生の皆さんの門出を在校生や保護者・地域、関係者の皆さんとともに祝いし、心を込めてお見送りしたいと思います。



リサイクル活動で綿打小児童がDVDビデオに



小学生向けDVDビデオ「～ゴミを宝にカエル術～くるくるみんなでリサイクル」（わかりあえる明日のために）に、綿打小学校児童のリサイクル活動の取組が紹介されました。本校では、10年以上前から、給食の時間に出る牛乳パックをリサイクルする活動を続けています。給食を食べ終わると、児童たちはバケツの中で牛乳パックをすすぎ、窓ぎわのかごの中で乾かします。乾いたら、それを開いて倉庫にため置きます。また、校内数か所にリサイクルボックスを設置し、家庭で出た牛乳パックを回収できるようにしています。回収された牛乳パックは、リサイクル業者により製紙工場に運ばれ、トイレットペーパーに生まれ変わります。加えて、本校では、再生トイレットペーパーを購入・使用することで“リサイクルの輪”を完成させています。このDVDビデオは、日本生命労働組合の企画により、全国小中学校環境教育研究会顧問の末吉潤一先生が監修し、（株）国際放映により製作されたもので、今年の4月から、全国各地の小学校等に無償で寄贈されるそうです。

本校では、保護者・地域の方々のご協力のもと、「環境教育」を全校体制で取り組んでいます。本校の「環境教育」は、児童による「ISO活動」・「グリーンカーテン」・「リサイクル活動」、PTAによる「資源回収」などの実践を通して、地球環境を守ろうとする活動です。「環境教育」の一環として、ISO14001の認証を受け、水・電気・紙等の節約をし、牛乳パックやエコキャップ（ペットボトルのキャップ）、アルミ缶の回収、紙を分別回収する「リサイクル活動」などを続けています。今年も、NPO法人「エコキャップ推進協会」からエコキャップのリサイクル推進活動への貢献により、感謝状をいただくことができました。

「資源回収」やアルミ缶回収による収益金は、学校の教育活動の充実にたいへん役立っています。これからも、「環境教育」を継続し、将来に向かって、かけがえのない地球を保護者と地域の皆様とともに守っていききたいと思いますので、ご協力をお願いします。

<手押信号機が移設されます>

本校東道路（県道315号線）にある「手押信号機」が地元関係者の方々と警察署のご理解により、南に約70Mほどの農面農道との交差点に移設され、3月16日（水）から運用が開始されます。新しい「手押信号機」へは、児童登校後に移設作業が行われ、下校時から運用されます。登下校時の交通指導等にご協力いただきましたことに深く感謝します。移設後も、児童の安全な登下校を指導してまいりますので、どうぞ、ご協力ください。

～ 「6年生を送る会」がありました ～



3月4日（金）、「6年生を送る会」が体育館で行われました。

<「6年生を送る会」プログラム>

- (1) 6年生入場（プラカードを先頭にして入場）
- (2) はじめの言葉（〇〇〇〇5-2）、(3) 在校生あいさつ（〇〇〇〇5-2）
- (4) 各学年の出し物
 - ① 1年生「おむすびころりん」（物語）
 - ② 2年生「子犬のビンゴ」（歌）と「こぐまの二月」（リコーダー奏）
 - ③ 4年生「茶色のこびん」（合奏）と「オーラリー」（リコーダー奏）
 - ④ 3年生「パフ」（歌と演奏）
 - ⑤ 5年生「ビリーブ」（歌）と「クラッピンファンタジー 第2番 ギャラクシー 銀河を超えて」（リズムとアンサンブル）
- (5) スライドショーの上映（卒業生に向けた学校生活の様子紹介）
- (6) 先生がたの出し物「栄光の架橋」（歌）
- (7) 6年生へのプレゼントの贈呈（5年生代表から6年生代表へ）
- (8) 6年生からのお礼の言葉（〇〇〇〇6-3）
- (9) 6年生の出し物 「友達の唄」（歌）
- (10) 教頭先生からの話（6年生への激励の言葉）
- (11) 全校合唱「ともだちになるために」（2月の歌）
指揮（〇〇〇〇5-2）、伴奏（〇〇〇〇5-2、〇〇〇〇5-1）
- (12) 終わりの言葉（〇〇〇〇5-1）、(13) 6年生退場（在校生の列に囲まれて退場）



心のこもった歌と演奏などの出し物により、6年生に贈る心からのエールが伝わり、6年生は学校生活を振り返り、思い出を心に深く刻み込むことができたと思います。

第2回学校評価の結果を紹介します



第2学期末に実施した「第2回学校評価」結果の概要をここに紹介します。

まず、児童についてみると、16項目中「肯定的な回答率」が高い項目は、①チャイムを守ること（98%）、②水や電気の節約、持ち物を大切にすること（97.6%）、③安全な登下校・緊急時の避難（97.2%）、④係・委員会活動や縦割遊びへの取組（97%）、⑤学校の勉強の理解（95.8%）が95%を超えていて、いずれも昨年度を上回っています。その一方、低い項目としては、⑩授業中の課題への取組と発表（76.8%）、⑮将来への夢や希望についての家族の話し合い（77.4%）、⑭読書時間が週30分以上（78.4%）で、80%を下回りましたが、昨年度よりは改善されています。昨年度低かった「自主学習の提出」（80.9%）は、昨年度（71.9%）を9ポイント上回りました。

次に、保護者についてみると、「肯定的な回答率」が高い項目は、①友達と仲良く遊び親切にされたこと（96.1%）、②通信等による学校生活の様子の理解（90.7%）、③食事、睡眠、登校時刻などの規則正しい生活（90.9%）がそれぞれ90%を超える数値で、昨年度を上回っていました。一方、低い項目としては、⑩読書時間が週30分以上（59.7%）、⑮将来への夢についての家族での話し合い（64.3%）、⑭体育以外の運動を週3回以上すること（68.8%）が60%台で低くなっていますが、いずれの項目も昨年度より上回っています。昨年度、低かった「家庭学習の時間」（72.9%）は、昨年度（64.5%）を約8ポイント上回りました。

児童と保護者の共通する課題としては、「読書時間を増やすこと」（児童78.4%、保護者59.7%）と「将来の夢や希望についての家族の話し合いをすること」（児童77.4%、保護者64.3%）があげられます。また、親子の意識の違いについては、「体育以外の運動を週3回以上すること」（児童90.4%、保護者68.8%）や、「相手との正しい言葉遣い」（児童94.4%、保護者71.4%）のように、意識のずれがみられました。また、保護者には、肯定的な見方が依然として低い傾向がみられますが、昨年度に比べると、16項目中11項目で肯定的な見方が増えてきています。このような結果を踏まえ、将来の夢や希望について家族の話し合いを深め、肯定的な見方ができるようにしていくことが大切です。読書習慣もさらに伸ばしていくことが必要です。